

図書室だより



令和 6 年 1 月 15 日(月)
伊達中学校 図書室
第 16 号 文責 阿部翔子

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。

2024 年、気持ちの良いスタートを切ることができたでしょうか。今年もみなさんが過ごしやすい図書室になるようご協力よろしくお願いします。

冬休み前に借りた本の返却は、1 月 12 日(金)まででした。まだ返却していない人は、今週中に忘れずに返却をお願いします。また、貸出冊数の上限が、5 冊から 2 冊に戻るので、注意してください。



新春図書室くじ

図書の展示会などでもらえる雑誌のふろくやしおり、先生からいただいた文庫本収納ケースなどをプレゼント!!今回は 1 枚だけ特別な当たりも入っているので、お楽しみに!

※くじを引けるのは、司書がいる毎週月・水・木限定です。

★期間：冬休み前に借りた本の返却後(学校全体で)～無くなり次第終了。

★参加方法：本を借りたら 1 枚くじを引けます。

★参加条件：図書室で静かに過ごすこと、本をちゃんと読むこと。

★くじ：1 等・2 等・3 等・4 等・5 等・はずれ・貸出プラス券、特別券

※景品は、選べるようになっています。袋に入れて渡しますので、

学校では開けず、家に帰ってから開けてください。



絵馬を書こう!

絵馬は、神様への願い事をするため、または叶ったお礼をするために、神社や寺などに納める木の板のことです。昔は、神様への願い事や祭礼の時に神様の乗り物として生きた馬を奉納する風習があり、「絵馬」は馬の代わりに奉納されるようになったものだからと言われていま
す。図書室内に絵馬の形の紙やペン、スタンプを用意したので、自由に願いごとを書
いて図書室前の壁面に飾ってみてください。

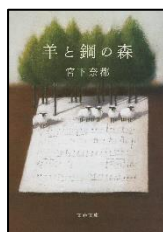


12月の 人気本

12月は、宮下奈都さんの『羊と鋼の森』、顎木あくみさんの『わたしの幸せな結婚 三』、J・K・ローリングさんの『ハリー・ポッターと炎のゴブレット』が人気でした。

宮下奈都『羊と鋼の森』

高校2年生の時、偶然ピアノ調律師の板鳥に出会って以来、調律の世界に魅せられた外村。



指導係の柳に助けられながら調律師として経験を積んでいく外村だが、とある才能溢れる双子との出会いが彼を変えていき…。

川澄 浩平『探偵は教室にいない』

わたしには長いこと会っていないちょっと変わった幼なじみがいる。



ある日、わたしの下に届いた差出人不明のラブレターをめぐって、わたしと彼—鳥飼歩は、九年ぶりの再会を果たす。

今月の おすすめ

今年は、辰年。日本と海外の小説で、龍が登場する本を紹介します。

壁井 ユカコ『五龍世界 霧廟に臥す龍』

うーろんわーど

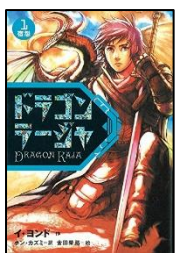
むびょう



五匹の龍の屍のうえに作られたといわれる五龍大陸。とある山に廟をかまえる高名な道士のもとに捨てられた少女ユギは、兄弟弟子の左慈とともに道士の修行に励んでいた。ある日、謎の西洋人牧師に追われる幼い少女をかくまったことで、ユギの運命は変化していく。

手足に呪の刻まれた枷をはめた少女の正体と、西洋人牧師の目的とは！？

イ・ヨンド『ドラゴンラージャ』



ロウソク職人の家に生まれた17歳の少年フチ・ネドバル。フチはブラックドラゴンに捕らえられた父と征伐隊の人びとの身代金を得るため、首都への旅に随行することになる。旅の途中、エルフやドワーフ、スパイ、放浪する王子など様々な人種・民族と出会う。裏切り、愛情、信頼、複雑な人間関係が渦巻く韓国発祥のファンタジー小説。

グレン・ダーシー『龍のすむ家』



下宿人募集—ただし、子どもとネコと龍の好きな方。そんな奇妙なはり紙を見て、デービットが行った先は、まさに龍だらけだった。家じゅうに女主人リズの作った陶器の龍が置かれ、2階には「龍のほら穴」と名付けられた謎の部屋があった。リズはそこで龍を作っているというが、奇妙なことにその部屋には窯がない。いったいどうやって粘土を焼いているのか……。片目のリス・コンカーをめぐる不思議な物語。